

## 令和5年度第3回自立支援協議会こども部会 議事要旨

1. 開催日時 令和6年1月30日(火)午後1時～午後3時
2. 開催場所 市役所4階 会議室S2・3(オンラインと併用)
3. 出席者 (委員)\*団体名のみ記載

教育センター、こども発達センター、浦安市自閉症協会、浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、肢体不自由児きょうだいの会ぞうさん組、社会福祉法人パーソナル・アシスタンスとも、社会福祉法人佑啓会、NPO法人アリスのうさぎ、NPO法人かぶあ、NPO法人発達わんぱく会、いずみサービス株式会社、株式会社ミスランディア、千葉県立市川特別支援学校、千葉県立船橋夏見特別支援学校、浦安市立小学校長会、浦安市立中学校長会、母子保健課、こども家庭支援センター(事務局)障がい事業課、障がい福祉課

### 4. 議事次第

1. 開会
2. 議題
  - (1) 第3回自立支援協議会及び第2回こども部会の振り返りについて
  - (2) 医療的ケア児やその家族について
  - (3) 次年度自立支援協議会のテーマについて(グループワーク)
3. 閉会

### 5. 配布資料

- |        |                                   |
|--------|-----------------------------------|
| 議題1    | 第3回自立支援協議会及び第2回こども部会の振り返りに<br>ついて |
| 議題2    | 浦安市で暮らすある医療的ケア児の生活(3)             |
| 議題3資料1 | R6自立支援協議会組織図                      |
| 議題3資料2 | 次年度自立支援協議会のテーマについて                |
| 議題3資料3 | こどもの暮らし(居場所)について(まとめ)             |

## 6. 議事概要

(1) 第3回自立支援協議会及び第2回こども部会の振り返りについて

### ■説明（リーダー）

第3回自立支援協議会の報告及び第2回こども部会の振り返りを行った。

### ■主な意見

特になし

(2) 医療的ケア児やその家族について

### ■説明（委員）

見識を深めるために、委員の経験をもとにお話を頂き、グループで意見を話し合った。

### ■主な意見

委：退院するまでのサービスに繋がる前のことが知ることができ、勉強になった。

委：入院から退院までの流れがよく分かった。実際の生活を発信していただけることがありがたく、勉強になった。

委：他市で医療的ケア児を預かる時に親御さんと連絡がつかない時の救急対応についてマニュアルを作って、消防とも連携をとっている。現状そういった連携は取れる体制があるか。

→委：消防・救急との連携体制は現状ない。ただスムーズな連携をとるために、事前に救急隊やかかりつけの病院への情報の共有や連絡を行っている。

委：レスパイト先の不足によって大変な苦勞をしていることが改めて分かった。浦安市の病院でレスパイトを活用したことはあるか？

→委：子どもが小さいときに預かってもらったことはあるが、現状は利用していない。

(3) 次年度自立支援協議会のテーマについて（グループワーク）

### ■説明（事務局）

令和6年度以降の自立支援協議会テーマ別部会で取り扱うべきテーマについて、令和5年度こども部会の議論を踏まえ、グループワークを行った。

### ■主な意見

委：学校生活における進路選択・就労選択などの節目において、居場所を失うことで様々な問題を抱えるこどもに関して、つなぎ目や出口についてや潜在的に福祉に繋がっていないこどもについての話し合いの場がもてるといい。

委：自分の価値を認めてくれる第3の居場所をどうやって見つけていくかが大切。

教育と福祉の垣根がなくなっていく中で、お互いの仕組みを有効活用することで、教育現場の負担を少なくできるのではないかという話がでた。目的の相談支援に繋がるために、こどもの相談体制の再構築について話し合えるといいという話がでた。

委：医療的ケア児が安心して生活できる体制を浦安市で作っていけるといいと思った。

ひとつひとつのケースに対して丁寧にケアしていくことで、関わるスタッフのスキルや周

りの環境・意識の向上につながる。

委：こどもの時期をどう過ごすかによって、就労や 8050 問題など先に繋がっていくことから、不登校や引きこもり、発達に心配のあるこどもについて、生きやすくなる仕組みづくりを取り組んでいくことが大切である。

リ：それぞれのグループから意見のあったテーマから、一つに絞るのではなくこども部会として話題にあがったことを本会に伝えていきたい。

委：次年度以降の自立支援協議会の体制に関して、変わることや会議の目的についてもっと具体的に説明してもらいたい。

→事：具体的な体制についてはこれから決めていくが、現状の体制では議題に関して深堀できないことがあるため、他市町村を参考にテーマを絞ることで、掘り下げて議論していくことを考えている。また、令和 6 年度以降に会長と相談しながら、具体的な仕組みが示せるようになったら、改めて説明させていただく。